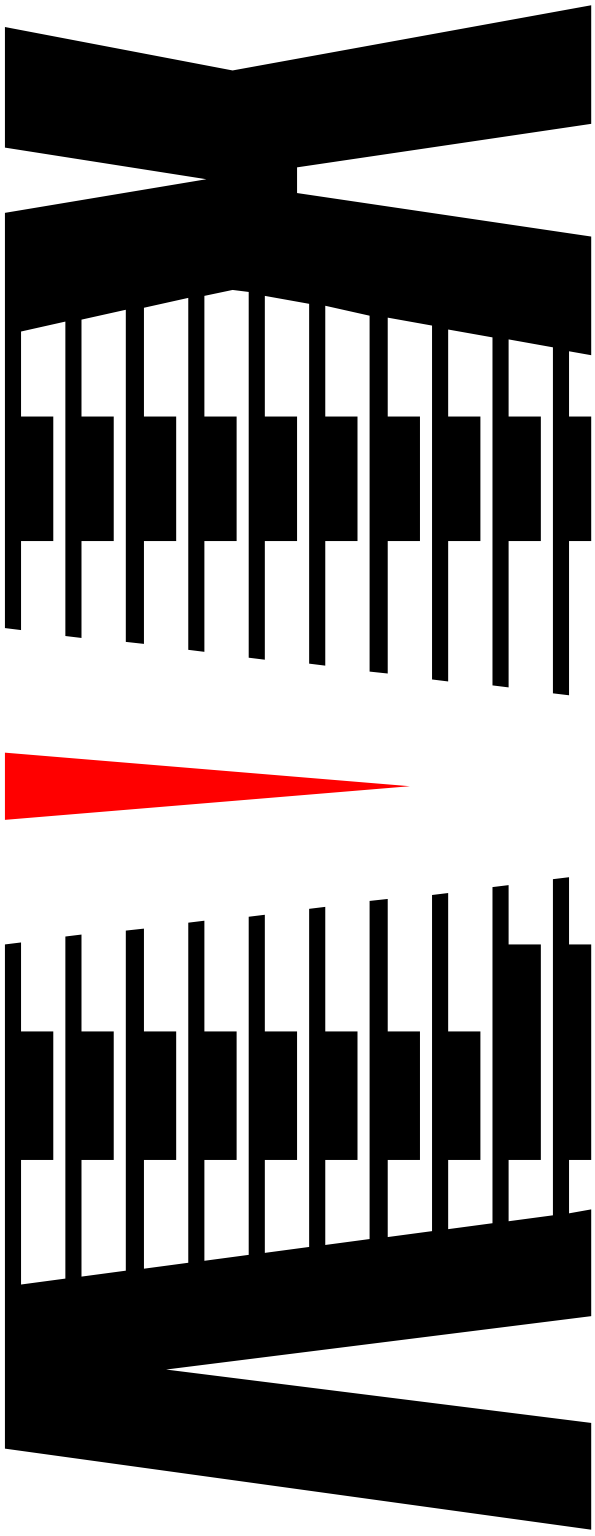
“アルビクス”　ビデオ／オーディオ コンバータ

AD−８０F

取扱説明書

Ver.0.0



御使用の前に必ず本取扱説明書をよく読んで理解して、
安全の為の指示に従って下さい。
もし、不明点が有れば販売店か弊社におたずね下さい。

目　　次

ページ

御使用上の注意事項 …… 1

１．　主な機能と特徴 …… 2

２．　仕様 …… 3

３．　各部の名称と機能 …… 4

　３－１　フロント …… 4

　３－２　リア …… 6

４．　設置手順 …… 7

　４－１　ラックマウント …… 7

　４－２　AD-80F ボード交換方法 …… 7

　４－３　電源ユニット交換方法 …… 7

５．　音声モード対応表 …… 9

６．　Ｗｅｂブラウザによる設定 …… 10

　６－１　ログイン …… １０

　６－２　ネットワーク設定 …… １２

　６－３　ＳＮＭＰ設定 …… １２５

御使用上の注意事項

必ずお守り下さい（安全にお使いいただくために）

警告

◇　内部に液体をこぼしたり、燃え易い物や金属類を落としてはいけません。
（火災や感電、故障の原因となります。）

◇　煙が出たり、異常音、臭気などに気が付いたときは、すぐに電源コードを抜いて販売店に御連絡下さい。

注意

◇　電源プラグの接続が不完全なまま使用しない。
（感電やショート、火災の原因となります。）

◇　電源コードを引っ張ったり、重いものをのせたりしない。
（電源コードが損傷し、火災や感電の原因となります。）

◇　電源コードを引っ張ってコンセントから抜かない。
（感電やショート、火災の原因となります。）

◇　仕様にて規定された電源電圧以外では使用しない。
（火災や感電の原因となります。）

お願い

◇　風通しの悪い所に置いたり、布などで通風孔を塞いだりしないで下さい。
（故障の原因となります。）

◇　次の様な所には置かないで下さい。
湿気の多い所、油煙や湯気の当たる所、直射日光の当たる所、熱器具の近く
埃の多い所、強い磁気のある所、極端に寒い所、極端に暑い所、激しい振動のある所、安定しない台の上、傾いた所
（故障の原因となります。）

１．主な機能と特徴

◇デジタル放送受信機の映像、音声信号出力をHD／SD－SDI信号に変換する変換機です。

◇映像はD端子から出力される１０８０ｉ／４８０ｉアナログＹＰｂＰｒ信号を、
　HD－SDI（１０８０ｉ入力時）／SD－SDI（４８０ｉ入力時）信号に変換します。

◇音声は光デジタルオーディオ信号（PCM）をSDI信号にエンベデッドします。

◇２ヶ国語放送に対応するため、音声入力は２系統あり、４ｃｈ(L_1、R_1、L_2、R_2)を
　エンベデッドします。
　※この場合、２台の受信機から光デジタルオーディオ信号を入力する必要があります。

◇オプションのＡＡＣデコーダボードをアドオンすることで、５．１ｃｈサラウンド音声を
　エンベデッドできるようになります。

◇リファレンス入力に同期し出力します。
　※入力とリファレンスが非同期の場合、映像のフレーム間で飛越し、又は重複が発生します。

◇入出力状態や機器状態を SNMP トラップで外部に通知します。

◇2U 筐体に入出力基板を最大８枚、制御基板を１枚実装できます。

◇電源はリダンダントです。

２．仕様

入力	映像信号	形式	YPｂPr－D3(HD)/D1(SD)
		接栓	D 端子コネクタ
	音声信号	形式	光デジタルオーディオ
		接栓	光角型コネクタ
出力	SDI 信号	形式	HD:SMPTE２９２M （1080i59.94） SD:SMPTE259M-C （480i59.94） ｴﾝﾍﾞｯﾃﾞｯﾄﾞｵｰﾃﾞｨｵ最大 8ch
		接栓	BNC コネクタ
入力	リファレンス信号	形式	BBS（NTSC ﾌﾞﾗｯｸﾊﾞｰｽﾄ） 又は　3値 SYNC(HD)
		接栓	BNC コネクタ
電源		ＡＣ １００Ｖ±５%	
		コネクタ	３Ｐインレット
外形寸法		Ｈ８８×Ｗ４３０×Ｄ３５５　（mm） （突起含まず）	
重量		約９ｋｇ	
消費電力（８ｃｈ搭載時）		８０Ｗ	
皮相電力（８ｃｈ搭載時）		１６０VA	
使用温度範囲		５℃　～　４０℃	

３．各部の名称と機能

３－１　フロント

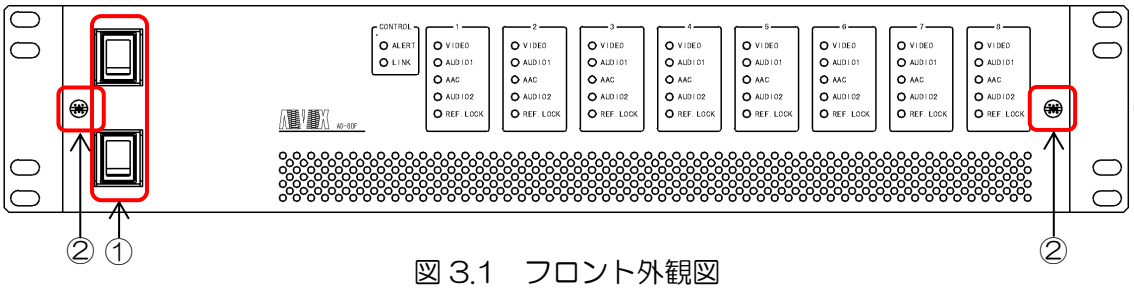


図 3.1　フロント外観図

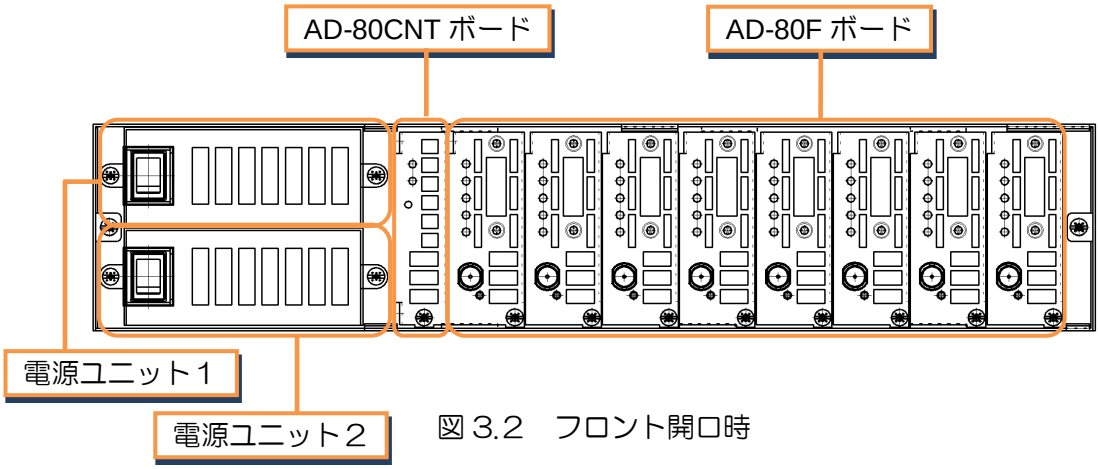


図 3.2　フロント開口時

① 電源スイッチ

本機器の電源ＯＮ／ＯＦＦを行います。
通常は、上下のスイッチを両方ＯＮにして使用してください。

② フロント着脱用ネジ

フロントを開口する際には、ネジを緩めてフロントの着脱を行います。

AD－８０CNT　LED の状態

１．ALERT（機器状態）

機器状態を表します。

機器状態	LED
異常（電源・ファン）	赤色に点灯
正常	消灯

2．LINK
LINK 状態を表します。

LINK 状態	LED
１００Ｍｂｐｓ	緑色に点灯
１０Ｍｂｐｓ	橙色に点灯
ＬＩＮＫなし	消灯

AD－８０F　LED の状態

1．VIDEO（YPbPr 映像状態 LED）
アナログ YPbPr 映像の状態を表します。

入力映像の状態	LED
D3(1080i)映像信号を入力	緑色に点灯（出力映像は HD-SDI）
D1(480i)映像信号を入力	橙色に点灯（出力映像は SD-SDI）
入力映像なし	約 1 秒周期で赤色に点滅

2．AUDIO1（光デジタル音声１　状態 LED）
光デジタル音声 1（OPT.AUDIO1）の入力状態を表します。

入力音声の状態	LED
OPT.AUDIO1　PCM 入力あり	緑色に点灯
OPT.AUDIO1　PCM 以外入力あり	緑色に点灯、一瞬消灯
OPT.AUDIO1　入力なし	消灯

3．AAC（AAC 信号状態 LED）
オプションの AAC デコーダの有無／AAC 信号状態を表します。

AAC デコーダ実装の場合）

入力信号の状態	LED
OPT.AUDIO1 に AAC 音声を入力	緑色に点灯
OPT.AUDIO1 に PCM 音声を入力	約２秒周期で緑色に一瞬点灯

（AAC デコーダ実装時の AAC 音声入力は OPT.AUDIO1 のみ対応です）

AAC デコーダ未実装の場合）
LED は常に消灯したままとなります。

4．AUDIO2（光デジタル音声２　状態 LED）
光デジタル音声２（OPT.AUDIO2）の入力状態を表します。

入力音声の状態	LED
OPT.AUDIO2 入力あり	緑色に点灯
OPT.AUDIO2 入力なし	消灯

5．REF.LOCK（出力同期　ロック状態）
出力同期状態を表します。

出力同期の状態	LED
リファレンスにロック出力	緑色に点灯
内部同期	消灯

３－２　リア

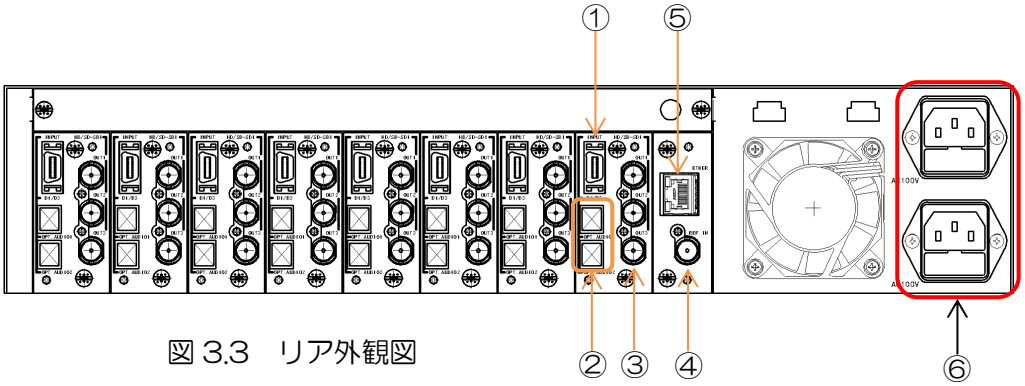


図 3.3　リア外観図

① 映像入力
　受信機からの映像信号。D1 または D３信号を入力してください。

② 音声入力
　受信機からの音声信号。光デジタルオーディオ信号を入力してください。
　上が AUDIO１。
　AUDIO１には、
　　AAC ボード有りの場合、AAC 又は PCM を入力してください。
　　AAC ボード無い場合、PCM を入力してください。
　AUDIO２には、
　　PCM を入力してください。

③ SDI 信号出力１～３
　D1 入力時は、SD-SDI 信号、D３入力時は、HD-SDI 信号を出力します。

④ リファレンス信号入力
　リファレス信号を入力してください。
　BBS（NTSC　ブラックバースト）信号、又は
　３値ＳＹＮＣ（ＨＤ　３値ＳＹＮＣ）を入力します。
　リファレンス信号が有ると、
　AD-80F 基板は自動判別でリファレンスロック動作になります。
　AD-80F 基板の REF.LOCK を示す LED が点灯します。
　リファレンス信号が無い場合、内部同期動作になります。

⑤ ＬＡＮ
　ＬＡＮインターフェースコネクタです。

⑥ ＡＣ入力
　本機の電源入力（３Ｐインレット）です。
　電源コードは上下とも接続して下さい。

４．設置手順

４－１　ラックマウント

◇専用取り付け金具を使用することで、EIA 2U/JIS 2J として取り付けることが可能です。

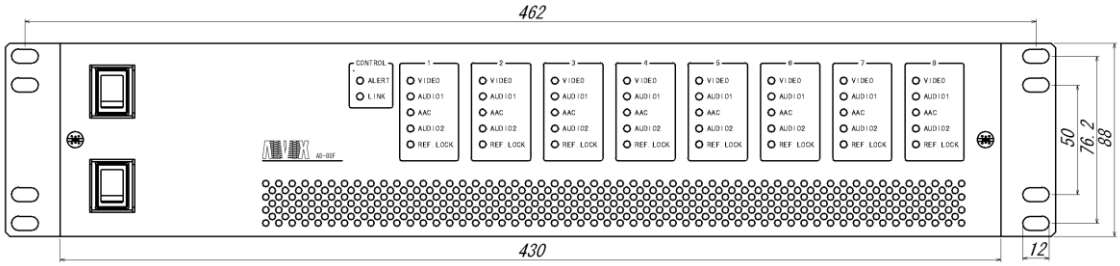


図 4.3　ラックマウント用金具

４－２　ＡＤ－８０Ｆボード交換方法

◇各チャンネルの AD-80F ボードはホットスワップ可能になっています。
※ホットスワップを行う際には、隣接基板との接触に十分に注意して下さい。

1. フロントパネルを取り外します。
2. 交換する基板のフロント固定用ネジ（基板側の固定ネジ）を緩めます。
3. 交換する基板のリア固定用ネジ（２か所固定ネジ）を緩めます。
4. ケーブルを外します。
5. 基板を隣接基板に注意しながらフロント側より引き抜きます。
6. 新しい基板を本体に挿入します。
   ※挿入時に、基板が上下のレールにきちんと挟まっていることを確認して下さい。
7. 基板を奥まで押し込み、固定用ネジを締めます。
8. フロントパネルを戻します。

４－３　電源ユニット交換方法

◇電源ユニットはホットスワップ可能になっています。（片側ずつの交換となります。）

1. フロントパネルを取り外します。
2. 交換する側の電源スイッチを OFF します。
3. 交換する電源ユニットの固定用ネジを緩め、電源ユニットを引き抜きます。
4. 新しい電源ユニットを本体に挿入し、固定用ネジを締めます。
5. フロントパネルを戻し、電源スイッチを ON します。

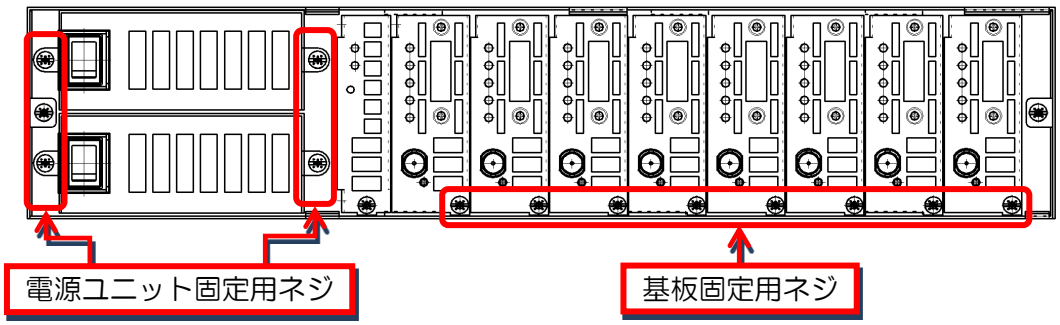


図 4.4　フロント固定用ネジ

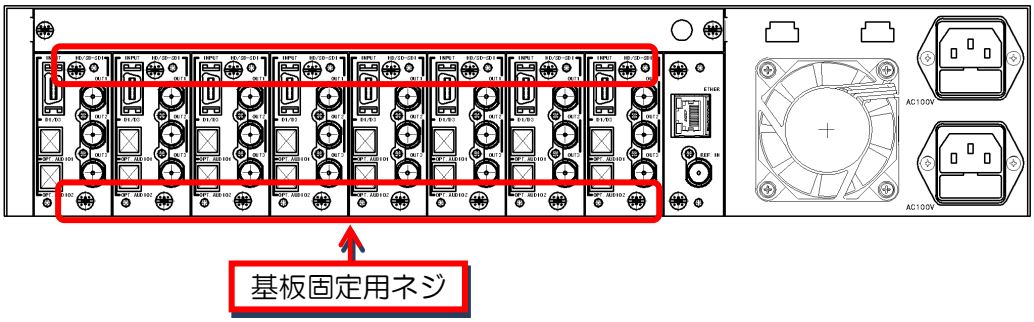


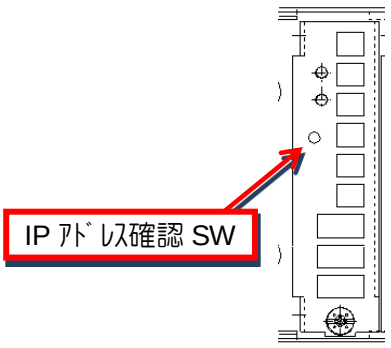
図 4.5　リア固定用ネジ

4－4　IP アドレス確認方法

◇使用中に IP アドレス・ログイン情報が不明になった場合、
以下の手順で確認出来ます。

1. フロントパネルを取り外します。
2. AD-80CNT 基板の IP アドレス確認 SW を押しながら、電源を起動します。
3. 本体アドレスが 192.168.200.254/24　で起動します。
4. WEB ブラウザで、http://192.168.200.254 にアクセスします。
5. ログイン　ユーザー名、パスワード共に”root”
6. ネットワーク設定を確認する事で、元々の IP アドレスが表示されます。
7. 再起動で、元々の IP アドレスで起動します。

※ログイン情報が不明の場合、ログイン ID・パスワードを更新してください。



５．音声モード対応表

AAC 音声内の音声モード／出力信号の音声 ch 割り当て／局間情報内の音声モードの
対応は AD-80F の動作モード（モード 1／モード 2。出荷時に設定選択）
によって変化します。
各モード時の対応は下記の通りとなります。

１．モード 1（デフォルト設定：AAC 音声の音声モードを局間情報にそのまま出力）

１．１．OPT.AUDIO1 に AAC 音声を入力した場合

AAC 音声の音声モード	OPT.AUDIO2 PCM 音声入力	ch1	ch2	ch3	ch4	ch5	ch6	ch7	ch8	局間情報内の音声モード
モノラル	なし	M	M							M
2 ヶ国語		M1	M2							2M
ステレオ		L	R							S
5.1ch		L	R	C	LFE	Ls	Rs			5.1
モノラル	あり	M	M	L2	R2					M
2 ヶ国語		M1	M2	L2	R2					2M
ステレオ		L	R	L2	R2					S
5.1ch		L	R	C	LFE	Ls	Rs	L2	R2	5.1

※L2/R2：OPT.AUDIO2 に入力した PCM 音声の Lch/Rch

１．２．OPT.AUDIO1 に PCM 音声を入力した場合
（AAC デコーダ未実装時も同様）

OPT.AUDIO2 PCM 音声入力	ch1	ch2	ch3	ch4	ch5	ch6	ch7	ch8	局間情報内の音声モード
なし	L	R							S
あり	L	R	L2	R2					2S

２．モード 2（実際の音声 ch 割り当てを考慮して局間情報の音声モードを設定）

２．１．OPT.AUDIO1 に AAC 音声を入力した場合

AAC 音声の音声モード	OPT.AUDIO2 PCM 音声入力	ch1	ch2	ch3	ch4	ch5	ch6	ch7	ch8	局間情報内の音声モード
モノラル	なし	M	M							M
2 ヶ国語		M1	M1	M2	M2					2S
ステレオ		L	R							S
5.1ch		L	R	C	LFE	Ls	Rs			5.1
モノラル	あり	M	M	L2	R2					2S
2 ヶ国語		M1	M1	M2	M2	L2	R2			3S
ステレオ		L	R	L2	R2					2S
5.1ch		L	R	C	LFE	Ls	Rs	L2	R2	5.1+S

２．２．OPT.AUDIO1 に PCM 音声を入力した場合
（AAC デコーダ未実装時も同様）

OPT.AUDIO2 PCM 音声入力	ch1	ch2	ch3	ch4	ch5	ch6	ch7	ch8	局間情報内の音声モード
なし	L	R							S
あり	L	R	L2	R2					2S

６．Ｗｅｂブラウザによる設定

◇本装置はＷｅｂブラウザを使用し、ＳＮＭＰ設定、ネットワーク設定を行うことができます。

６－１　ログイン

◇スーパー装置の設定画面を開きます。

1. ＵＲＬ入力

■インターネットエクスプローラーを起動し、アクセスしたい機器のＩＰアドレスを入力します。

※出荷時のＩＰアドレスは御社ご指定のアドレスとなっています。

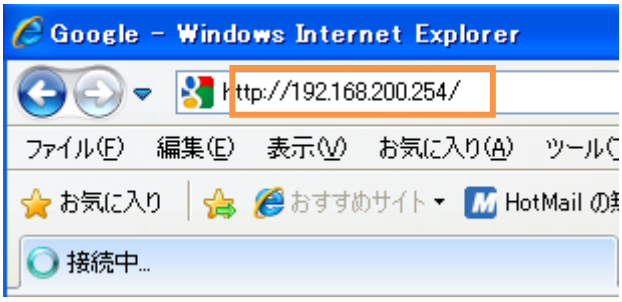


図 5.1　ＵＲＬ入力

2. ログインページ

■ログインページが表示されますので、 ログイン ボタンをクリックします。

※お気に入りへはログインページを登録して下さい。

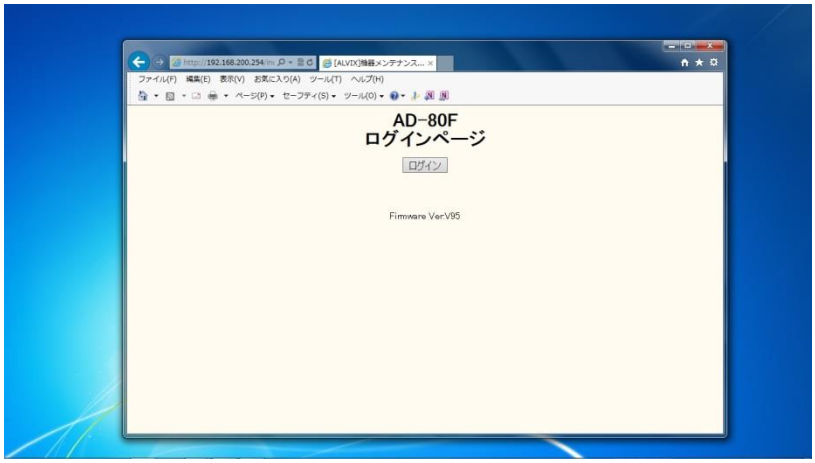


図 5.2　ログインページ

3. ログイン画面

■ユーザー名とパスワードの入力を求めるダイアログが表示されます。

■ユーザー名とパスワードを入力し、 OK ボタンをクリックしてください。

■ キャンセル ボタンをクリックすると、ログインを中止します。

※初期状態では、ユーザー名：root、パスワード：root、でログインできます。

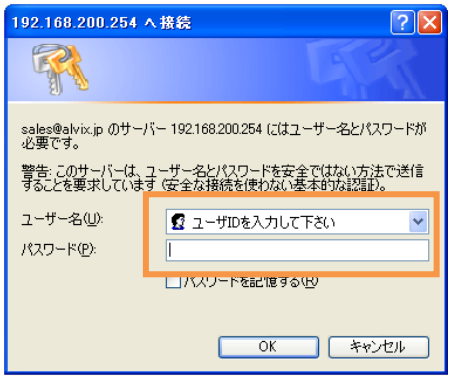


図 5.3　ログイン画面

６－２　メイン画面

◇メイン画面が開きます。

ファームバージョンなどのバージョン情報と現在の機器状態を表示します。
メニューの項目で、設定項目を選択します。

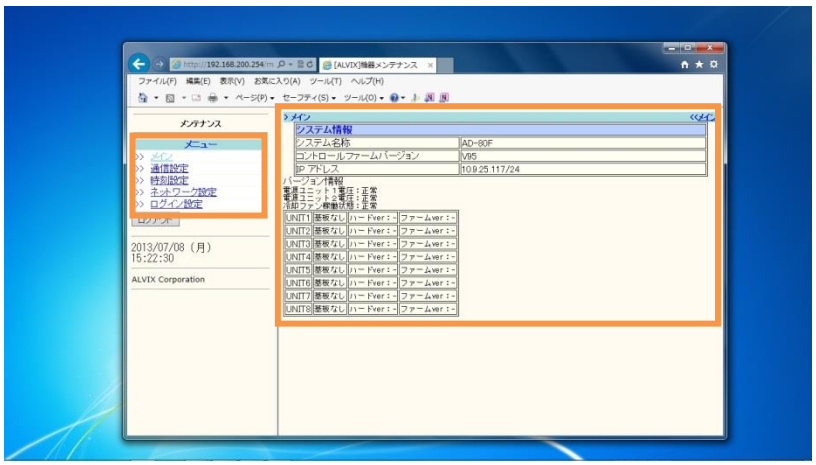


図 5.4　メイン画面

６－３　ＳＮＭＰ設定

◇機器の監視を行うためのＳＮＭＰを設定します。

1. メニューより「ＳＮＭＰ設定」をクリックして下さい。

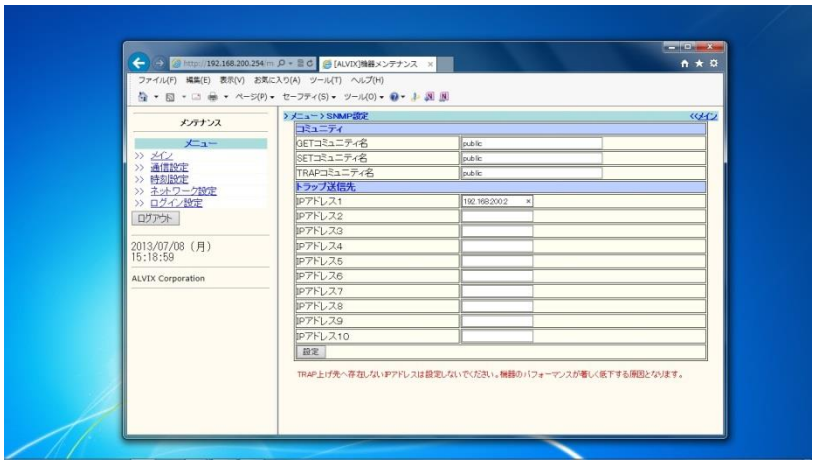


図５.５　ＳＮＭＰ設定

2. 任意のコミュニティ名を設定してください。
   ■半角英数３０文字文字以内で設定できます。

3. トラップ送信先のＩＰアドレスを設定してください。
   ■送信先アドレスは１０個まで設定できます。
   ※ＴＲＡＰ上げ先へ存在しないＩＰアドレスは設定しないでください。
   機器のパフォーマンスが著しく低下する原因となります。

4. 設定 をクリックしてください。確認メッセージが表示されます。

６－４　時刻設定

◇機器の時刻設定や、NTP サーバの設定ができます。

1. メニューより「時刻設定」をクリックして下さい。

2. ＮＴＰサーバ名、時刻更新間隔を入力します。(SNMP でも設定可能)

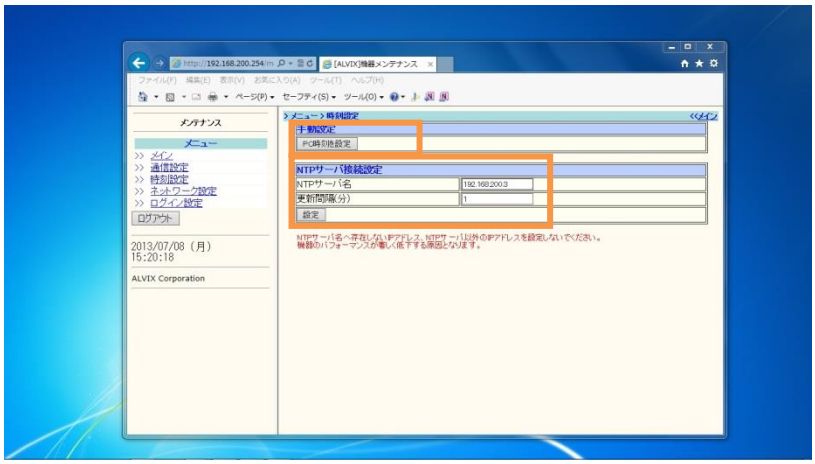


図 5.6　時刻設定

3. 手動設定（任意）
ＮＴＰサーバが無く、ＳＮＭＰで時刻設定しない場合、
ＰＣ時刻を設定可能です。
ＰＣ時刻設定ボタンを押してください。

６－５　ネットワーク設定

◇本体のＩＰアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイの変更ができます。

1. メニューより「ネットワーク設定」をクリックして下さい。

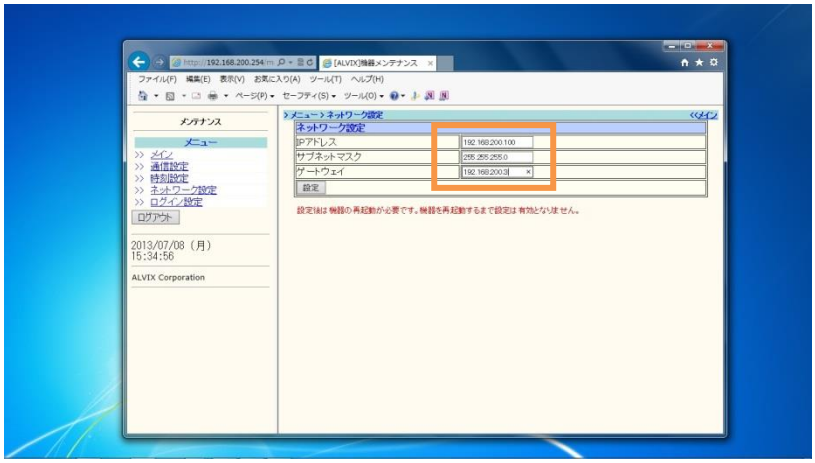
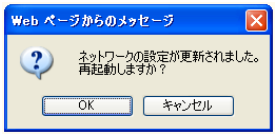


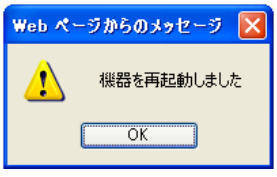
図 5.7　ネットワーク設定

2. 変更したい IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイを入力します。

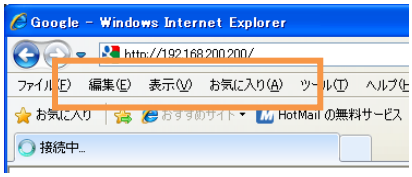
3. 設定 をクリックしてください。確認メッセージが表示されます。



4. OK をクリックして、機器を再起動してください。
確認メッセージが表示されます。
起動には、約３０秒かかります。
ＬＩＮＫがＬＥＤ点灯->消灯->点灯で起動完了。



5. ブラウザに新しいＩＰアドレスを入力し、再ログインしてください。



６－６　ログイン設定

◇ログインＩＤ，パスワードの変更ができます。

1. メニューより「ログイン設定」をクリックして下さい。

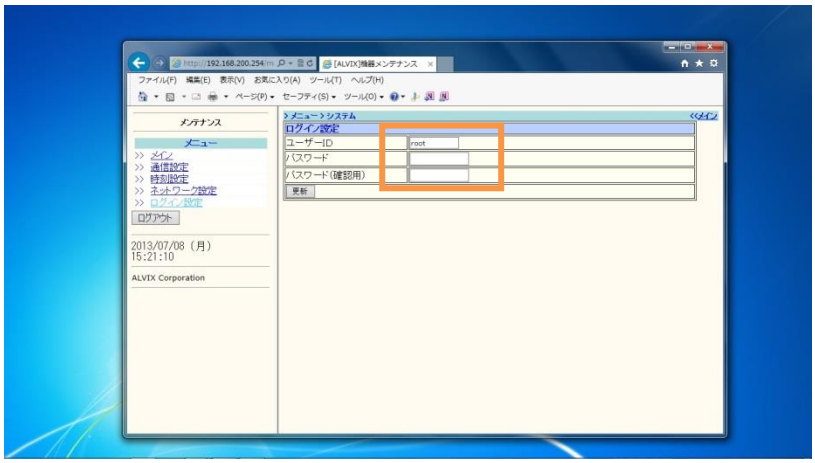
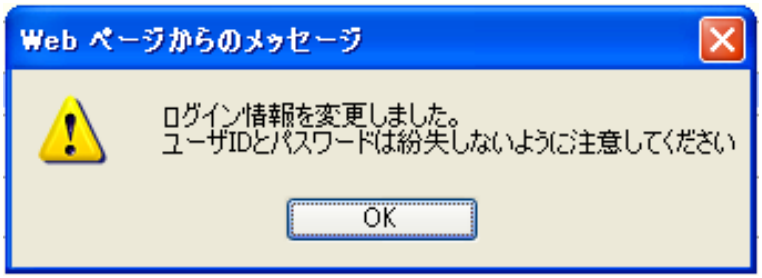


図 5.8　ログイン設定

2. ユーザーＩＤ、パスワードを入力します。
   ユーザーＩＤ、パスワード共に、半角英数１２文字まで指定できます。

3. 更新 をクリックしてください。確認メッセージが表示されます。



お問い合わせ先

お買い上げいただきました弊社製品についてのアフターサービスは、お買い上げの販売店におたずねください。
なお、販売店が不明の場合は弊社へお手数でもご連絡ください。

故障・保守サービスのお問い合わせは

販売店：

ＴＥＬ
担　当

製品の操作方法に関するお問い合わせは

無断転載禁止

アルビクス株式会社
〒959―0214
新潟県燕市吉田法花堂1974－1
ＴＥＬ：0256－93－5035
ＦＡＸ：0256－93－5038